
白と黒

高木和久

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

白と黒

【Nコード】

N6907I

【作者名】

高木和久

【あらすじ】

ポエムです

簡素であります

白と黒

それらは

金で変わる

白と黒

虚偽で混ぜようとする

いつそ混ぜてしまえば

薄めれば人生の影になる

白と黒

かもふらーじゅ

この世には裏がある

それが大人になったということ

もう大人なんだから

決まり文句

決め台詞

ワインにも白と黒があるか

ボンジュールヌーボーにもあるか

白と黒

逃れるために顔を変え

十一面観音のように七変化

三百六十度の顔が並ぶ

今ほどの顔か

混ぜるために顔を変える
眩ますために

二律背反

いつそ目の前のナイフで
この目を潰してしまえば
闇夜の世界を旅出来るのかもしれない

かつて〇〇が白と黒の違いは反射の違いだと
教えてくれた

私はそれで重たい荷物を何層か降ろした
陽が昇る頃

人は街を歩き出し、クラクションが泣き出す
私は霞に酔い、二酸化炭素を吐き続ける

もうすぐあなたは死んでしまうだろう

私の日常に黒が居候することになるのかもしれない
今頃手紙は雲の上で櫂を漕いでいる

友よ

詩が恋を演じ

異人館から漏れる密談が、この世界を動かして行く
白と黒の人間たちが、返信を送る

時は待たせず

白濁の波と黒砂が私の身投げを止めた
後ろを振り向けば

やはり

そこにあるのは

白と黒だった

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6907i/>

白と黒

2011年1月27日10時14分発行